

厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）

化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づく Multi-ImmunoTox assay（MITA）による予測性試験法の確立と国際標準化（H30-化学-一般-001）

分担研究報告書

IL-1 Luc assayおよびIL-2 Luc leukocyte toxicity test (IL-2 Luc LTT)クライテリアの設定ならびにプロトコールの作成

研究分担者 木村 裕 東北大学病院皮膚科・助教

研究要旨

平成30年度、令和1年度に行われた IL-1 β 転写活性抑制評価試験 (IL-1 luciferase reporter assay; IL-1 Luc assay) の国際バリデーション研究に向けたクライテリアの設定ならびにプロトコールの作成を行った。平成29年度までに国際バリデーションが終了した IL-2 転写活性抑制評価試験 (IL-2 Luciferase reporter assay; IL-2 Luc assay) のプロトコールを参照とし、当教室で作成した60化学物質でのデータベースの結果およびPhase 0試験での各施設のデータをもとに $|\% \text{suppression}| \geq 20\%$ を陽性とするクライテリアを設定しPhase I用のプロトコールを作成した。そのプロトコールに則りPhase I試験（平成30年12月～令和1年3月）が行われた。終了後に開催された validation management team (VMT) 会議にて改変されたクライテリアに沿ってPhase II試験用プロトコールを作成した。（添付資料1：Multi-Immuno Tox Assay protocol for THP-G1b(TGCHAC-A4) ver.009E）そのプロトコールに則り令和1年7月よりIL-1 Luc assay validation試験Phase IIが実施された。Phase II試験は12月に終了し、その後令和2年1月に開催されたVMT会議にて施設内および施設間再現性の結果が承認されIL-1 Luc assay validation試験が終了されたことを受けIL-1 Luc assay validation reportの作成を開始した。

IL-2 Luc assayを補完する目的で令和2年度より開始されたIL-2 Luc leukocyte toxicity test (IL-2 Luc LTT)について、当教室で得られたデータを元に設定されたクライテリアに基づいたプロトコールを作成し、そのプロトコールに則り令和2年10月よりIL-2 Luc LTT validation試験Phase Iが実施された。また、神戸大学の協力を得てPhase I試験で使用するデータシートを作成した。（添付資料2：Data sheet for MITA IL-2 Luc LTT Ver.008.8）Phase II試験に先立ち78候補被検物質の判定を行いVMTのchemical selection teamにデータを提出し、そのデータをもとにPhase IIにおける20被検物質が決定された。

A. 研究目的

- IL-1 Luc assayの国際バリデーションの実施に向け、その際に使用するクライテリアの設定、プロトコールを作成することを目的とした。
- IL-2 Luc leukocyte toxicity test (IL-2 Luc LTT)の国際バリデーション試験実施に向け、その際に使用する

クライテリアの設定、プロトコールを作成することを目的とした。

B. 研究方法

IL-1 Luc assayにおいては以下の方法によりIL-1 β プロモーター活性の測定を行った。ヒト急性単球性白血病由来細胞株THP-1にIL-1 β プロモーターに制御され

たSLGルシフェラーゼ遺伝子（緑色に発色）、GAPDHプロモーターに制御されたSLRルシフェラーゼ遺伝子（赤色に発色）を導入したTHP-G1b(TGCHAC-A4)細胞を1ウェル当たり 1×10^5 個、96-well プレートに播種し化学物質を加え、37°C、5%CO₂下で1時間培養した。つづいてLipopolysaccharide (LPS)で刺激し37°C、5%CO₂下で6時間培養した。その後、細胞溶解剤とルシフェラーゼ反応の基質であるルシフェリンの混合剤であるTripluc luciferase assay reagent (TOYOBO)を混合し、室温で10分振盪させたのちマルチプレート対応型ルミノメーターにてルシフェラーゼ活性を測定した。SLG、SLRルシフェラーゼは共通の基質の存在により同時に発光するが、光学的フィルターにより分離し、各ルシフェラーゼの発光量 (SLG-luciferase activity (SLG-LA)、SLR-luciferase activity (SLR-LA)) を検出した。また細胞数の違いや各種刺激後の生存率の違いを勘案しSLG-LAをSLR-LAで除することによりnormalized SLG-luciferase activity (nSLG-LA) を算出した。さらに以下の式により化学物質によるIL-1 β プロモーター活性の抑制率%suppressionを計算した。

% suppression = (1-化学物質存在下でのnSLG-LA/化学物質非存在下でのnSLG-LA) X 100

IL-2 Luc LTTにおいては以下の方法によりIL-2およびIFN- γ プロモーター活性の測定を行った。ヒトTリンパ芽球性白血病由来細胞株JurkatにIL-2プロモーターに制御されたSLGルシフェラーゼ遺伝子（緑色に発色）、IFN- γ プロモーターに制御されたSLOルシフェラーゼ遺伝子（橙色に発色）、GAPDHプロモーターに制御されたSLRルシフェラーゼ遺伝子（赤色に発色）を導入した2H4細胞を1ウェル当たり 2×10^5 個、黒色の96-well プレート(Greiner bio-one)に播種し化学物質を加え、37°C、5%CO₂下で24時間培養した。つづいて25nM PMAと1mM Ioの混合物(PMA/Io)で刺激し37°C、5%CO₂下で6時間培養した。その後、細胞溶解剤とルシフェラーゼ反応の基質である

ルシフェリンの混合剤であるTripluc luciferase assay reagent (TOYOBO)を混合し、室温で10分振盪させたのちマルチプレート対応型ルミノメーターにてルシフェラーゼ活性を測定した。SLG、SLO、SLRルシフェラーゼは共通の基質の存在により同時に発光するが、2枚の光学的フィルターにより分離し、各ルシフェラーゼの発光量 (SLG-luciferase activity (SLG-LA)、SLO-luciferase activity (SLO-LA)、SLR-luciferase activity (SLR-LA)) を検出した。また細胞数の違いや各種刺激後の生存率の違いを勘案しSLG-LA、SLO-LAをSLR-LAで除することによりそれぞれ normalized SLG-luciferase activity (nSLG-LA), normalized SLO-luciferase activity (nSLO-LA) を算出した。さらに以下の式に%suppression抑制率を計算した。

% suppression = (1-薬物存在下でのnSLG-LAまたはnSLO-LA/薬物非存在下でのnSLG-LAまたはnSLO-LA) X 100

(倫理面への配慮)

本研究では主に細胞株を使用しており倫理面の問題はないと判断した。

C. 研究結果

I. IL-1 Luc assayアッセイ方法の検討
平成24年度から平成26年度の3年間にわたる厚生労働科学研究費補助金事業「多色発光細胞を用いたhigh-throughput免疫毒性評価試験法の開発」においてTHP-1細胞をベースとしたIL-1 β レポーター細胞であるTHP-G1b(TGCHAC-A4)細胞を樹立した。本研究でIL-1 β 転写活性抑制評価試験(IL-1 luciferase reporter assay; IL-1 Luc assay)に使用するにあたり以下の条件設定を行った。

- ① LPS、96ウェルプレートの選定
従来のLPS(E. coli 026:B6)ではSLR-LAに比べSLG-LAの値が極端に高くなり結果が不安定になるという問題があったため刺激するLPSについて再検討を行った。入手可能なLPS 4種について反応性を測定したところE. coli K12でE. coli 026:B6の3分の1の反

応性を示すことが示された。また従来96ウェルプレートについてはblackプレートを使用していたがウェルの内側を白色、ウェル間を含めた他の部分が黒色のblack & whiteプレートの使用を検討したところシグナルの増強が認められ安定した結果が得られた。以上の結果からLPSはE. coli K12へ、96ウェルプレートはblack & whiteプレートへ変更した。

② 培養条件の検討

THP-G1b(TGCHAC-A4)細胞の培養の際に選択抗生剤としてブラストサイジンを使用していたがブラストサイジンにより細胞のLPSへの反応性が低下する可能性が考えられたためブラストサイジンが入っていない培地を使用することとした。

II. IL-1 Luc assayクライテリアの設定

① 当教室で作成した60化学物質でのデータベースの結果およびPhase 0試験での各施設のデータをもとに $|\%suppression| \geq 20\%$ を陽性とするクライテリアを設定しPhase I用のプロトコールを作成した。

② Phase Iの途中で、化学物質の毒性が強い場合に有効なデータが得られず判定ができないという問題が生じたため、有効なデータが6濃度未満でかつ陰性と判定されるときそのアッセイは棄却されるクライテリアに変更した。

以上I、IIを反映したプロトコールを作成した。(Multi-Immuno Tox Assay protocol for THP-G1b ver. 008. 1E)

III. IL-1 Luc assayデータシートの作成

95%信頼区間の算出法について神戸大学の協力を得てPhase I用のデータシートを作成した。

IV. IL-1 Luc assay Phase I用の記録用紙を作成した。

V. IL-1 Luc assay Phase II試験用プロトコールを作成

平成30年度にIL-1 Luc assay validation試験 Phase I試験をMulti-Immuno Tox Assay protocol for TGCHAC-A4 ver. 008Eに則り実施した。試験終了後、参加施設のデータを検討しPhase II試験に向け下記のようにアクセプタンスクライテリア、クライテリアを変更した。

アクセプタンスクライテリア

- ・ LPS添加時のnIL1LAの誘導の許容下限が5.0であったのを3.0に変更した。
- ・ Inh-GAPLAが0.05以上となる濃度が6未満かつ結果が陰性の場合はそのアッセイを棄却しその後のアッセイは濃度を低くして行うよう変更した。

クライテリア

- ・ %suppressionの閾値を20%から25%に変更した。
- ・ 結果をno effect, suppression, augmentationと3者に分類していたのを、augmentationをno effectに含めてno effect, suppressionの2者への分類に変更した。
- ・ 2000 mg/mLの濃度における結果を除外した。

以上の結果を反映させたプロトコール、Multi-Immuno Tox Assay protocol for TGCHAC-A4 ver. 009Eを作成した。(添付資料1)

VI. IL-1 Luc assay Phase II試験33候補被検物質の判定

Phase I終了後にVMTのchemical selection teamにより選定されたPhase II試験33候補被検物質についてIL-1 Luc assayの判定結果、入手方法、IL-1発現への影響についての論文報告をまとめVMTに提出した。このデータをもとにPhase IIにおける20被検物質が決定された。

VII. IL-1 Luc assay Phase II試験で使用するデータシート、記録用紙の作成

神戸大学の協力を得てPhase II試験用のデータシートを作成し、参加施設に配布した。

VIII. 免疫毒性化学物質のデータベース作成

昨年度まで作成してきた60化学物質による免疫毒性化学物質のデータベース作成を拡充し、97化学物質からなるデータベースを作成した。

IX. IL-2 Luc leukocyte toxicity test (IL-2 Luc LTT)試験用プロトコールを作成

当教室で得られたデータを元に設定されVMT会議で承認された以下の様なクライテリアに基づいたプロトコールを作成した(研究代表者_添付資料5)。このプロトコールに則り令和2年10月よりIL-2 Luc LTT validation試験 Phase Iが実施された。

クライテリア

- ・ $\%suppression \leq -35$ かつ $Min\ Inh-GAPLA < 0.7$ を満たす被験物質を leukocyte toxic と判定する。
- ・ $-35 \leq \%suppression \leq 35$ かつ $Min\ Inh-GAPLA \geq 0.7$ を満たし distilled water に不溶の被験物質を indeterminate と判定する。
- ・ それ以外の被験物質を non-leukocyte toxic と判定する。

X. IL-2 Luc leukocyte toxicity test (IL-2 Luc LTT) Phase II試験78候補被検物質の判定

Phase I 終了後に VMT の chemical selection team により選定された Phase II 試験 78 候補被検物質について IL-2 Luc assay、IL-2 Luc LTT の判定結果、入手方法をまとめ VMT に提出した。このデータをもとに Phase II における 20 被検物質が決定された。

XI. IL-2 Luc leukocyte toxicity test (IL-2 Luc LTT) Phase II試験で使用するデータシート、記録用紙の作成

神戸大学の協力を得てPhase II試験用のデータシートを作成し、参加施設に配布した。(添付資料2)

D. 考察

IL-1 Luc assay について、培養条件、LPS、96ウェルプレート、クライテリアの変更に より Phase 0 における技術移転性が確認された。Phase I 試験後に変更したクライテリアを適応した Phase II 試験試験では施設内および施設間再現性共に良好な試験結果が得られた。

IL-2 Luc LTT について、クライテリアを適応した Phase I 試験試験では施設内および施設間再現性共に良好な試験結果が得られた。

E. 結論

平成30年度、令和1年度に行われた IL-1 Luc assay validation 試験への準備として プロトコール、データシート、記録用紙を作成しそれに則り Phase I および II 試験が実施された。施設内および施設間再現性共に結果は良好で IL-1 Luc assay validation 試験は終了し IL-1 Luc assay validation report の作成を開始した。

令和2年度に行われた IL-2 Luc leukocyte toxicity test (IL-2 Luc LTT) validation 試験への準備として プロトコール、データシート、記録用紙を作成しそれに則り Phase I 試験が実施された。施設内および施設間再現性共に結果は良好で、Phase II 試験が予定されている。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Kimura, Y., Fujimura, C., Ito, Y., Takahashi, T., Terui, H., Aiba, S., 2018. Profiling the immunotoxicity of chemicals based on in vitro evaluation by a combination of the Multi-

- ImmunoTox assay and the IL-8 Luc assay. Arch Toxicol 92, 2043-2054.
- 2) Kimura, Y., Watanabe, M., Suzuki, N., Iwaki, T., Yamakage, K., Saito, K., Nakajima, Y., Fujimura, C., Ohmiya, Y., Omori, T., Kojima, H., Aiba, S., 2018. The performance of an in vitro skin sensitisation test, IL-8 Luc assay (OECD442E), and the integrated approach with direct peptide reactive assay (DPRA). J Toxicol Sci 43, 741-749.
 - 3) Kimura Y, Yasuno R, Watanabe M, Kobayashi M, Iwaki T, Fujimura C, Ohmiya Y, Yamakage K, Nakajima Y, Kobayashi M, Mashimo N, Takagi Y, Omori T, Corsini E, Germolec D, Inoue T, Rogen EL, Kojima H, Aiba S An international validation study of the IL-2 Luc assay for evaluating the potential immunotoxic effects of chemicals on T cells and a proposal for reference data for immunotoxic chemicals. Toxicol in Vitro, 2020: 66: 104832
 - 4) Kimura, Y., Fujimura, C., Aiba, S. The modified IL-8 Luc assay, an in vitro skin sensitisation test, can significantly improve the false-negative judgment of lipophilic sensitizers with logKow values > 3.5. Arch Toxicol, 2021:95: 749-758
 - 5) Terui, H., Kimura, Y., Fujimura, C., Aiba, S. The IL-1 promoter-driven luciferase reporter cell line THP-G1b can efficiently predict skin-sensitising chemicals. Arch Toxicol, 2021: in press
2. 学会発表
- 1) 木村 裕、安野 理恵、渡辺 美香、小林 美和子、岩城 知子、藤村 千鶴、近江谷 克裕、山影 康次、中島 芳浩、小林 眞弓、大森 崇、足利 太可雄、小島 肇、相場 節也：Multi-ImmunoTox Assay (MITA)：バリデーション研究の結果 日本動物実験代替法学会 第31回大会（熊本）（2018.11）
 - 2) 木村 裕、安野 理恵、渡辺 美香、小林 美和子、岩城 知子、藤村 千鶴、近江谷 克裕、山影 康次、中島 芳浩、真下 奈々、高木 佑実、大森 崇、小島 肇、相場 節也：Multi-ImmunoTox Assay (MITA)の予測性評価に必要な文献に基づく化学物質免疫毒性分類の試み 日本動物実験代替法学会 第 32 回大会 つくば（2019.11）
 - 3) 木村 裕、藤村 千鶴、相場 節也 IL-8 Luc assay (OECD442E) のクライテリアの改変とLogKowが3.5を超える化学物質における偽陰性率の改善（ポスター）日本動物実験代替法学会 第 33 回大会 Web 開催（2020.11）
 - 4) 木村 裕、安野 理恵、渡辺 美香、小林 美和子、岩城 知子、藤村 千鶴、近江谷 克裕、山影 康次、中島 芳浩、真下 奈々、岡山 昂祐、高木 佑実、大森 崇、小島 肇、相場 節也 Multi-ImmunoTox Assay (MITA)：IL-1 Luc assay バリデーション試験の結果（ポスター）日本動物実験代替法学会 第 33 回大会 Web 開催（2020.11）
 - 5) 木村 裕、藤村 千鶴、相場 節也 IL-8 Luc assay (OECD442E) の改良とLogKow >3.5物質への対応（ポスター）細胞アッセイ研究会 Web 開催（2021.1）
 - 6) 木村 裕、藤村 千鶴、照井 仁、相場 節也 新たな皮膚感作性試験法 IL-1 Luc assayの特性（ポスター）細胞アッセイ研究会 Web 開催（2021.1）
- H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

なし

Multi-Immuno Tox Assay protocol for THP-G1b
(TGCHAC-A4) ver. 009E

July 1st, 2019

Department of Dermatology, Tohoku University Graduate School of Medicine

Yutaka Kimura, M.D., Ph.D.

Setsuya Aiba, M.D., Ph.D.

1. Introduction	157
2. Materials	158
2-1 Cells.....	158
2-2 Reagents and equipment	158
2-2-1 For maintenance of the THP-G1b (TGCHAC-A4) cells.....	158
2-2-2 For chemical exposure, stimulation, positive control and solvents.....	158
2-2-3 For measurement of the luciferase activity.....	158
2-2-4 Expendable supplies	158
2-2-5 Equipment for measurement of luciferase activity	159
2-2-6 Others	159
2-3 Culture medium	160
2-3-1 A medium: for maintenance of THP-G1b (TGCHAC-A4) cells (500 mL, stored at 2-8° C).....	160
2-3-2 B medium: for luciferase assay (30 mL, stored at 2-8° C).....	160
2-4 Preparation of the stimulant of THP-G1b (TGCHAC-A4) cells.....	161
2-4-1 Lipopolysaccharide (LPS) from Escherichia coli K12	161
3. Cell culture	162
3-1 Thawing of THP-G1b (TGCHAC-A4) cells	162
3-2 Maintenance of THP-G1b (TGCHAC-A4) cells	162
4. Preparation of cells for assay	163
5. Preparation of chemicals and cell treatment with chemicals.....	164
5-1 Dissolution by vehicle (cf. Figure 3)	164
5-2 When the chemical is prepared in distilled water.....	167
5-2-1 Arrangement of chemicals and vehicle	167
5-2-2 Serial dilution	167
5-2-3 2 step dilution.....	168

5-3	When the chemical is prepared as a DMSO solution	170
5-3-1	Arrangement of chemicals and vehicle	170
5-3-2	Serial dilution	170
5-3-3	Dilution of DMSO solution with the B medium	171
5-3-4	2 step dilution	172
6.	Preparation of the stimulant (Lipopolysaccharide (LPS)) and addition to THP-G1b (TGCHAC-A4)	174
6-1	Material	174
6-2	Preparation of 1000 ng/mL LPS solution	174
6-3	Addition of LPS to THP-G1b (TGCHAC-A4)	175
7.	Positive control.....	176
7-1	Preparing control chemical (dexamethasone).....	176
7-1-1	Preparing dexamethasone stock.....	176
7-2	Preparation of cells for assay.....	177
7-3	Arrangement of chemicals and vehicle	178
7-4	Dilution with the B medium.....	178
7-5	2 step dilution	179
7-6	Addition of LPS to THP-G1b (TGCHAC-A4).....	180
8.	Calculation of the transmittance factors.....	182
8-1	Reagents.....	182
8-2	Preparation of luminescence reaction solution	182
8-3	Bioluminescence measurement.....	183
9.	Measurement.....	185
10.	Data analysis	188
11.	Criteria.....	188
11-1	Acceptance criteria	188

11-2 Criterion	188
12. Update record.....	190
Appendix 1 Principle of measurement of luciferase activity.....	193
Appendix 2 Validation of reagents and equipment.....	194

1. Introduction

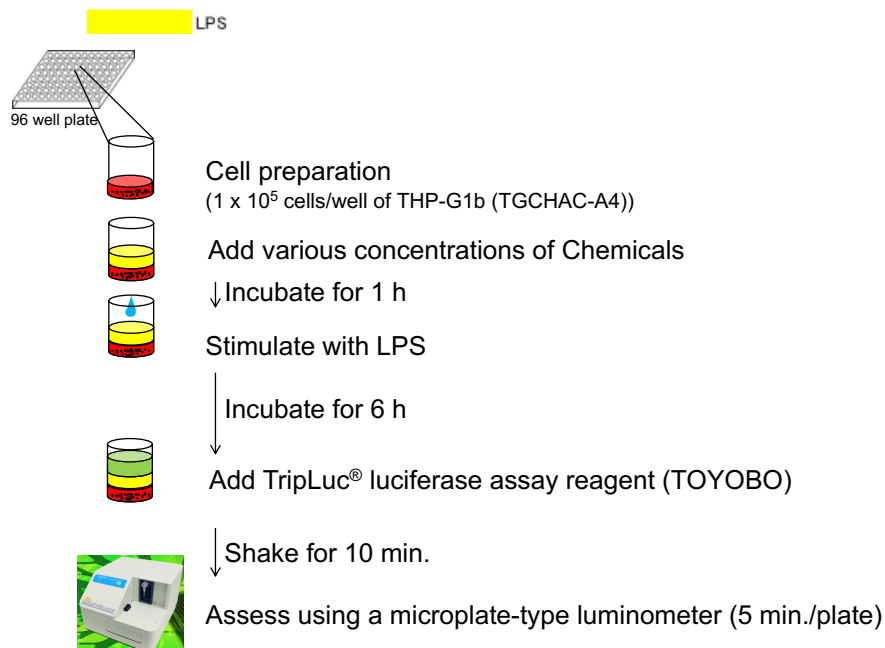
This protocol describes how to maintain the cells, how to prepare the test chemicals, and how to measure the luciferase activity of THP-G1b (TGCHAC-A4), THP-1 cells transfected with 2 luciferase genes, stable luciferase orange (SLG) on the human artificial chromosome (HAC) vector and stable luciferase red (SLR), under the control of IL-1 β and G3PDH promoters, respectively, for the Multi-Immuno Tox Assay.

(Kimura Y. et al. Evaluation of the Multi-Immuno Tox Assay composed of 3 human cytokine reporter cells by examining immunological effects of drugs *Toxicol in Vitro*, 28, 759-768, 2014)

Figure 1

Assay design

flat-bottom B&W	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B												
C	cont (distilled water or DMSO)	LPS only	A/2 ⁹	A/2 ⁸	A/2 ⁷	A/2 ⁶	A/2 ⁵	A/2 ⁴	A/2 ³	A/2 ²	A/2 ¹	A
D			$\mu\text{g/mL}$	$\mu\text{g/mL}$	$\mu\text{g/mL}$	$\mu\text{g/mL}$	$\mu\text{g/mL}$	$\mu\text{g/mL}$	$\mu\text{g/mL}$	$\mu\text{g/mL}$	$\mu\text{g/mL}$	$\mu\text{g/mL}$
E			Chemical (common ratio of 2, 10 concentrations, n=4)									
F												
G												
H												



2. Materials

2-1 Cells

- THP-G1b (TGCHAC-A4) (IL1 β -SLG, G3PDH-SLR)

The human macrophage-like cell line THP-1 was obtained from the American Type Culture Collection (Manassas, VA, USA). A THP-1-derived IL-1 β reporter cell line, THP-G1b (TGCHAC-A4), that harbors the SLG and SLR luciferase genes under the control of the IL-1 β and G3PDH promoters, respectively, was established by the Dept. of Dermatology, Tohoku University School of Medicine and GPC laboratory Co. Ltd.

(Kimura Y. et al. Profiling the immunotoxicity of chemicals based on in vitro evaluation by a combination of the Multi-ImmunoTox assay and the IL-8 Luc assay. Archives of Toxicology, 92, 2043-2054, 2018)

2-2 Reagents and equipment

2-2-1 For maintenance of the THP-G1b (TGCHAC-A4) cells

- RPMI-1640 (GIBCO Cat#11875-093, 500 mL)
- FBS (Biological Industries Cat#04-001-1E Lot: 715004)
- 100 X concentrated antibiotic and antimycotic (10,000 U/mL of penicillin G, 10,000 μ g/mL of streptomycin and 25 μ g/mL of amphotericin B in 0.85 % saline) (e.g., GIBCO Cat#15240-062)

2-2-2 For chemical exposure, stimulation, positive control and solvents

- Lipopolysaccharide (LPS) from Escherichia coli K12 (Invivogen Cat#tlrl-eklps, Lot#: LEK-39-01)
- Dexamethasone (CAS:50-02-2, Fujifilm Wako Pure Chemical Cat#041-18861)
- Dimethyl sulfoxide (DMSO) (CAS:67-68-5, Sigma Cat#D5879)
- Distilled water (GIBCO Cat#10977-015)

2-2-3 For measurement of the luciferase activity

- Tripluc[®] Luciferase assay reagent (TOYOBO Cat#MRA-301)

2-2-4 Expendable supplies

- T-75 flask tissue culture treated (e.g., Corning Cat#353136)
- 96 well black-flame and white-well plate (flat-bottom, for measurement of the luciferase activity, e.g. PerkinElmer B&W Isoplate-96 TC Cat#6005060)
- 96 well clear plate (round-bottom, for preparation of chemicals and stimulants)
- 96 well assay block, 2 mL (e.g., Costar Cat#3960)

- Seal for 96 well plate (e.g., Perkin Elmer TopSeal-A PLUS Cat#6050185, EXCEL Scientific SealMate Cat#SM-KIT-SP)
- Reservoir
- Pipette

2-2-5 Equipment for measurement of luciferase activity

- Measuring device: a microplate-type luminometer with a multi-color detection system that can accept an optical filter
e.g. Phelios AB-2350 (ATTO), ARVO (PerkinElmer), Tristar LB941 (Berthold)
- Optical filter: 600 nm long-pass filter, 600~700 nm band-pass filter
- Measuring time: set at 1~5 sec/well measuring time

2-2-6 Others

- Pipetman
- 8 channel or 12 channel pipetman (optimized for 10~100 μ L)
- Plate shaker (for 96 well plate)
- CO₂ incubator (37°C, 5% CO₂)
- Water bath
- Cell counter: hemocytometer, trypan blue

2-3 Culture medium

2-3-1A medium: for maintenance of THP-G1b (TGCHAC-A4) cells (500 mL, stored at 2-8°C)

Reagent	Company	Concentration	Final concentration in medium	Required amount
RPMI-1640	GIBCO Cat #11875-093	-	-	445 mL
FBS	Biological Industries Cat#04-001-1E Lot: 715004	-	10 %	50 mL
Antibiotic-Antimycotic	e.g., GIBCO Cat #15240-062	100×	1×	5 mL

2-3-2 B medium: for luciferase assay (30 mL, stored at 2-8°C)

Reagent	Company	Concentration	Final concentration in medium	Required amount
RPMI-1640	GIBCO Cat #11875-093	-	-	27 mL
FBS	Biological Industries Cat#04-001-1E Lot: 715004	-	10 %	3 mL

2-4 Preparation of the stimulant of THP-G1b (TGCHAC-A4) cells

2-4-1 Lipopolysaccharide (LPS) from Escherichia coli K12

Reagent	Company	Concentration of the stock solution	Final concentration
Lipopolysaccharide (LPS) from Escherichia coli K12	Invivogen Cat#tlrl-eklps	1 mg/mL	100 ng/mL
Distilled water	GIBCO Cat#10977-015		

Dissolve 5 mg LPS using distilled water 5 mL, dispense at 5 μ L/tube and store at freezer at -30°C. Use these stocks within 6 months after dissolution.

3. Cell culture

3-1 Thawing of THP-G1b (TGCHAC-A4) cells

Pre-warm 9 mL of A medium in a 15 mL polypropylene conical tube in a 37°C water bath (for centrifugation) and 15 mL of A medium in a T-75 Flask at 37°C in a 5% CO₂ incubator (for culture). Thaw frozen cells (2x10⁶ cells / 0.5 mL of freezing medium) in a 37°C water bath, then add to a 15 mL polypropylene conical tube containing 9 mL of pre-warmed A medium. Centrifuge the tube at 120-350 x g at room temperature for 5 min, discard the supernatant, and resuspend in 15 mL of pre-warmed A medium in a T-75 Flask. Cells are incubated at 37°C, 5% CO₂.

3-2 Maintenance of THP-G1b (TGCHAC-A4) cells

3 or 4 days after thawing, pre-warm the A medium in a T-75 Flask at 37°C in a 5% CO₂ incubator. Count the number of cells, centrifuge the tube at 120-350 x g at room temperature for 5 min, discard the supernatant, and resuspend in the pre-warmed A medium in a T-75 Flask. Cells are passaged at 2-5x10⁵/mL, depending on the condition of the cells and incubated at 37°C, 5% CO₂. The interval between subcultures should be 3~4 days. Cells can be used between one and six weeks after thawing.

4. Preparation of cells for assay

A cell passage should be done 2-4 days before the assay.

Use cells between 1 and 6 weeks after thawing.

Pre-warm the B medium in a 37°C water bath. Count the number of cells and collect the number of cells needed (5.0 x 10⁶ cells are required, but to have some leeway, 7.5 x 10⁶ cells should be prepared), centrifuge the tube at 120-350 x g, 5 min. Resuspend in pre-warmed the B medium at a cell density of 2x10⁶/mL. Transfer the cell suspension to a reservoir, and add 50 µL of cell suspension to each well of a 96 well black-flame and white-well plate (flat bottom) using an 8 channel or 12 channel pipetman. (cf. Figure 2)

Figure 2

flat-bottom B&W	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B												
C	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL
D	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL
E	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL
F	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL
G												
H												

5. Preparation of chemicals and cell treatment with chemicals

5-1 Dissolution by vehicle (cf. Figure 3)

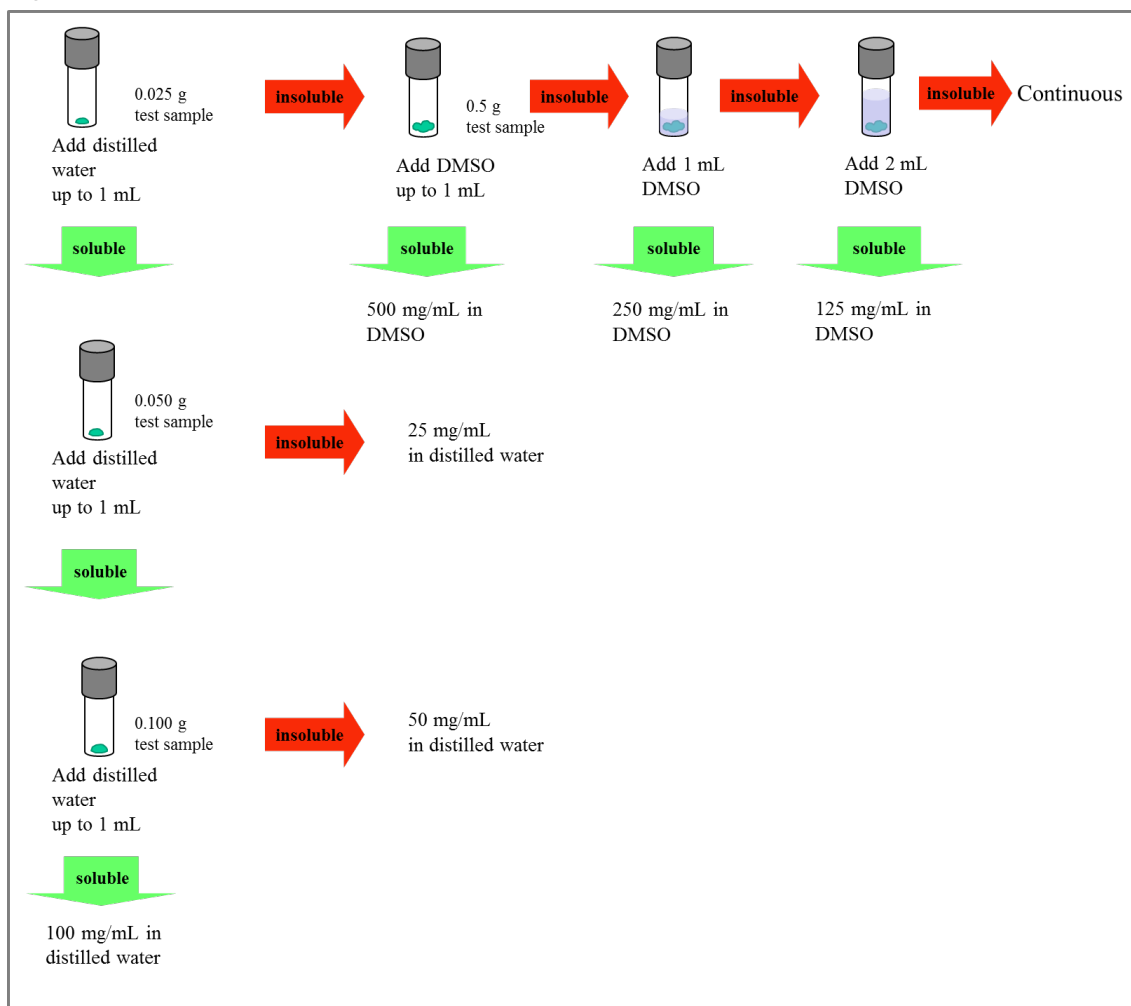
Dissolve the chemical first in distilled water. Namely, weigh 0.025 g of the test chemical in a volumetric flask and add distilled water up to 1 mL. If the chemical is soluble at 25 mg/mL, weigh 0.050 g of the test chemical in a volumetric flask and add distilled water up to 1 mL. If the chemical is not soluble at 50 mg/mL, 25 mg/mL is the highest soluble concentration. If the chemical is soluble at 50 mg/mL, weigh 0.100 g of the test chemical in a volumetric flask and add distilled water up to 1 mL. If the chemical is not soluble at 100 mg/mL, 50 mg/mL is the highest soluble concentration. If the chemical is soluble at 100 mg/mL, 100 mg/mL is the highest soluble concentration.

If the chemical is not soluble in water, the chemical should be dissolved in DMSO at 500 mg/mL. Namely, weigh 0.5 g of the test chemical in volumetric flask and add DMSO up to 1 mL.

If the chemical is not soluble at 500 mg/mL, the highest soluble concentration should be determined by diluting the solution from 500 mg/mL at a common ratio of two (250 mg/mL → 125 mg/mL → continued if needed) with DMSO.

Sonication and vortex may be used if needed, and attempt to dissolve the chemical for at least 5 minutes. Being soluble should be confirmed by centrifugation at 15,000 rpm ($\approx 20,000 \times g$) for 5 min and absence of precipitation. The chemical should be used within 4 hours after being dissolved in distilled water or DMSO.

Figure 3



In the first experiment (1st experiment), when the chemical is prepared in distilled water, conduct 10 serial dilutions at a common ratio of 2 from the highest concentration using distilled water. When the chemical is prepared as a DMSO solution, conduct 10 serial dilutions at a common ratio of 2 from the highest concentration using DMSO.

In the second to fifth experiment (2nd to 5th experiment), determine the minimum concentration at which I.I.-SLR-LA (mentioned later in **10**) became lower than 0.05 in the 1st experiment, use the concentration one step (2-times) higher than this determined concentration as the highest concentration of the chemical to examine, and conduct 10 serial dilutions at a common ratio of 2 from the highest concentration. If I.I.-SLR-LA did not become lower than 0.05 or became lower than 0.05 at the highest concentration in the 1st experiment, conduct 10 serial dilutions at a common ratio of 2 from the highest concentration in the 1st experiment.

For example, in Figure 4 below, the minimum concentration at which I.I.-SLR-LA became lower than 0.05 is 1.95 µg/ml. The highest concentration of the chemical to examine is the concentration one

step (2-times) higher than 1.95 µg/ml, which is 3.91 µg/ml.

In Figure 5 below, I.I.-SLR-LA did not become lower than 0.05. In such a case, the highest concentration of the chemical to examine is the highest concentration in the 1st experiment, namely 125 µg/ml.

Figure 4

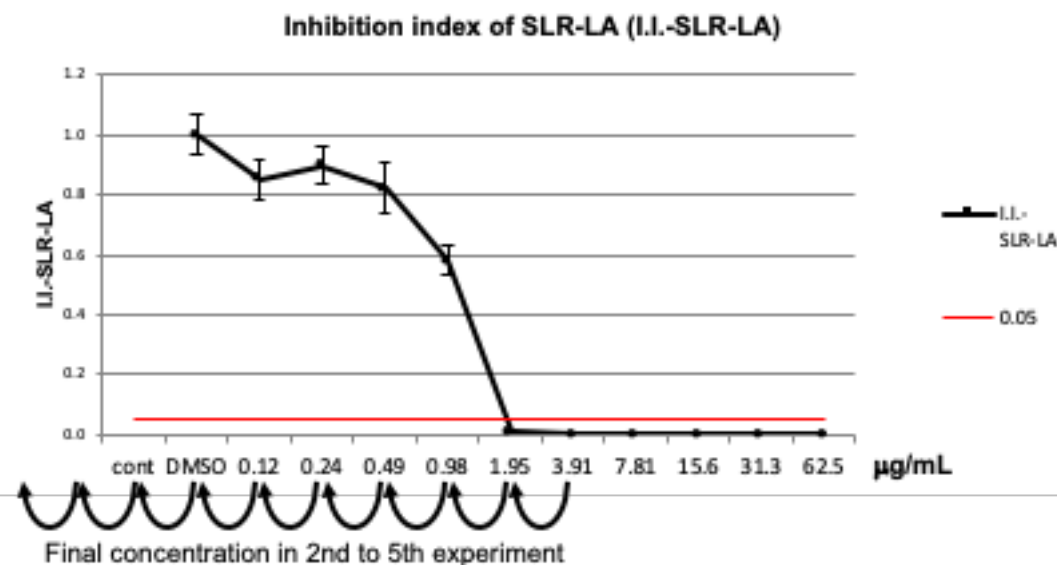
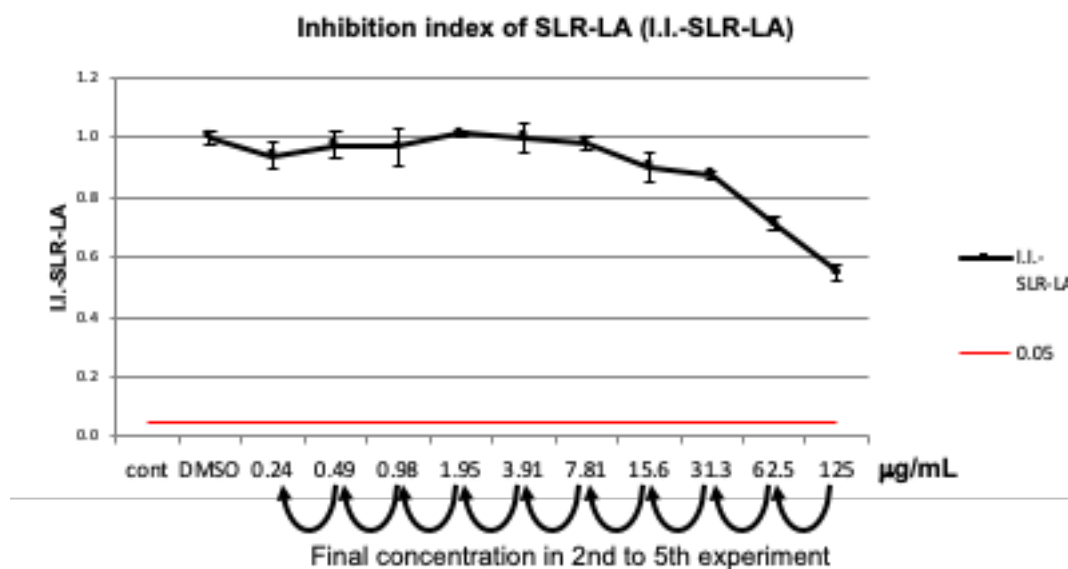


Figure 5



5-2 When the chemical is prepared in distilled water

If the chemical is prepared at a lower concentration, use the prepared concentration instead of the 100 mg/mL distilled water solution.

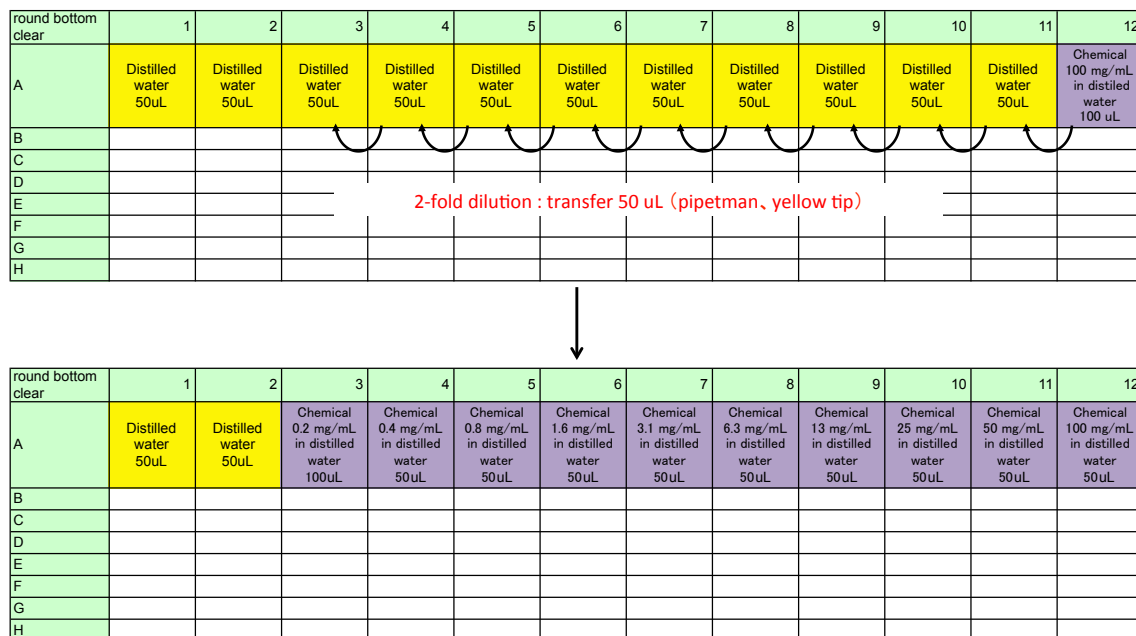
5-2-1 Arrangement of chemicals and vehicle

Add 100 µL of the 100 mg/mL distilled water solution of the chemical to well #A12, and 50 µL of the distilled water to wells #A1-#A11 of the 96 well clear plate (round bottom).

5-2-2 Serial dilution

Conduct 9 serial dilutions at a common ratio of 2 as indicated in Figure 4 from well #A11 to well #A3. Transfer 50 µL to the next (left) well. (cf. Figure 6)

Figure 6



5-2-3 2 step dilution

Add 20 μL of the diluted chemical to 480 μL of the B medium prepared in the assay block. And add 50 μL to THP-G8 in a 96 well plate using an 8 channel or 12 channel pipetman after pipetting 20 times. Seal the plate, shake the plate with a plateshaker and incubate in a CO_2 incubator for 1 hour (37°C , CO_2 , 5%) (cf. Figure 7-9).

Figure 7

round bottom clear	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	Distilled water 50uL	Distilled water 50uL	Chemical 0.2 mg/mL in distilled water 100uL	Chemical 0.4 mg/mL in distilled water 50uL	Chemical 0.8 mg/mL in distilled water 50uL	Chemical 1.6 mg/mL in distilled water 50uL	Chemical 3.1 mg/mL in distilled water 50uL	Chemical 6.3 mg/mL in distilled water 50uL	Chemical 13 mg/mL in distilled water 50uL	Chemical 25 mg/mL in distilled water 50uL	Chemical 50 mg/mL in distilled water 50uL	Chemical 100 mg/mL in distilled water 50uL
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

Assay Block	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL	B medium 480uL
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

20uL

5-3 When the chemical is prepared as a DMSO solution

If the chemical is prepared at a lower concentration, use the prepared concentration instead of 500 mg/mL DMSO solution.

5-3-1 Arrangement of chemicals and vehicle

Add 100 μ L of the 500 mg/mL DMSO solution of the chemical to well #A12, 50 μ L of DMSO to wells #A1-#A11, and 90 μ L of the B medium to wells #B1-#B12 of the 96 well clear plate (round bottom)

5-3-2 Serial dilution

Conduct 9 serial dilutions at a common ratio of 2 as indicated in Figure 8 from well #A11 to well #A3. Transfer 50 μ L to the next (left) well. (cf. Figure 10)

Figure 10

round bottom clear	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
A	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	Chemical 500 mg/mL in DMSO 100uL	
B	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	
C													
D				2-fold dilution : transfer 50 uL (pipetman, yellow tip)									
E													
F													
G													
H													

↓

round bottom clear	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	Chemical 1.0 mg/mL in DMSO 100uL	Chemical 2.0 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 3.9 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 7.8 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 16 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 31 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 63 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 125 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 250 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 500 mg/mL in DMSO 50uL
B	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL
C												
D												
E												
F												
G												
H												

5-3-3 Dilution of DMSO solution with the B medium

Dilute 10 μ L of the DMSO solution of the chemical in wells #A1-#A12 with 90 μ L of the B medium using an 8-12 channel pipetman. (cf. Figure 11)

Figure 11

round bottom clear	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	DMSO 100% 50uL	DMSO 100% 50uL	Chemical 1.0 mg/mL in DMSO 100uL	Chemical 2.0 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 3.9 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 7.8 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 16 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 31 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 63 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 125 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 250 mg/mL in DMSO 50uL	Chemical 500 mg/mL in DMSO 50uL
B	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL	B medium 90uL
C												
D												
E												
F												
G												
H												

10uL

↓

round bottom clear	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	DMSO 100% 40uL	DMSO 100% 40uL	Chemical 1.0 mg/mL in DMSO 90uL	Chemical 2.0 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 3.9 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 7.8 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 16 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 31 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 63 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 125 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 250 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 500 mg/mL in DMSO 40uL
B	Chemical 0 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0.10 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0.20 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0.39 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0.78 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 1.6 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 3.1 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 6.3 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 12.5 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 25 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 50 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL
C												
D												
E												
F												
G												
H												

5-3-4 2 step dilution

Add 10 μL of the diluted chemical to 490 μL of the B medium prepared in the assay block. And add 50 μL to THP-G8 in a 96 well plate using an 8 channel or 12 channel pipetman after pipetting 20 times. Manipulate the procedures from 5-3-3 to 5-3-4 as quickly as you can, and do not leave a long time at step after 5-3-3 or Figure 10. Seal the plate, shake the plate with a plateshaker and incubate in a CO_2 incubator for 1 hour (37°C , CO_2 , 5%) (cf. Figure 12-14).

Figure 12

round bottom clear	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	DMSO 100% 40uL	DMSO 100% 40uL	Chemical 1.0 mg/mL in DMSO 90uL	Chemical 2.0 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 3.9 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 7.8 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 16 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 31 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 63 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 125 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 250 mg/mL in DMSO 40uL	Chemical 500 mg/mL in DMSO 40uL
B	Chemical 0 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0.10 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0.20 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0.39 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 0.78 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 1.6 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 3.1 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 6.3 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 12.5 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 25 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	Chemical 50 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL
C												
D												
E												
F												
G												
H												

Assay Block	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

10uL

6. Preparation of the stimulant (Lipopolysaccharide (LPS)) and addition to THP-G1b (TGCHAC-A4)

6-1 Material

- 1 mg/mL LPS stock

6-2 Preparation of 1000 ng/mL LPS solution

Dilute 1 mg/mL LPS stock with distilled water as follows (1000 times, final concentration is 1000 ng/mL). Add distilled water as control to well #A1-#D1 of the 96 well clear plate (round bottom), and add 1000 ng/mL LPS solution to wells #A2-#D2 of the 96 well clear plate (round bottom).

1st step

1 mg/mL LPS	distilled water	Total	final concentration
5 μ L	995 μ L	1000 μ L	5 μ g/mL

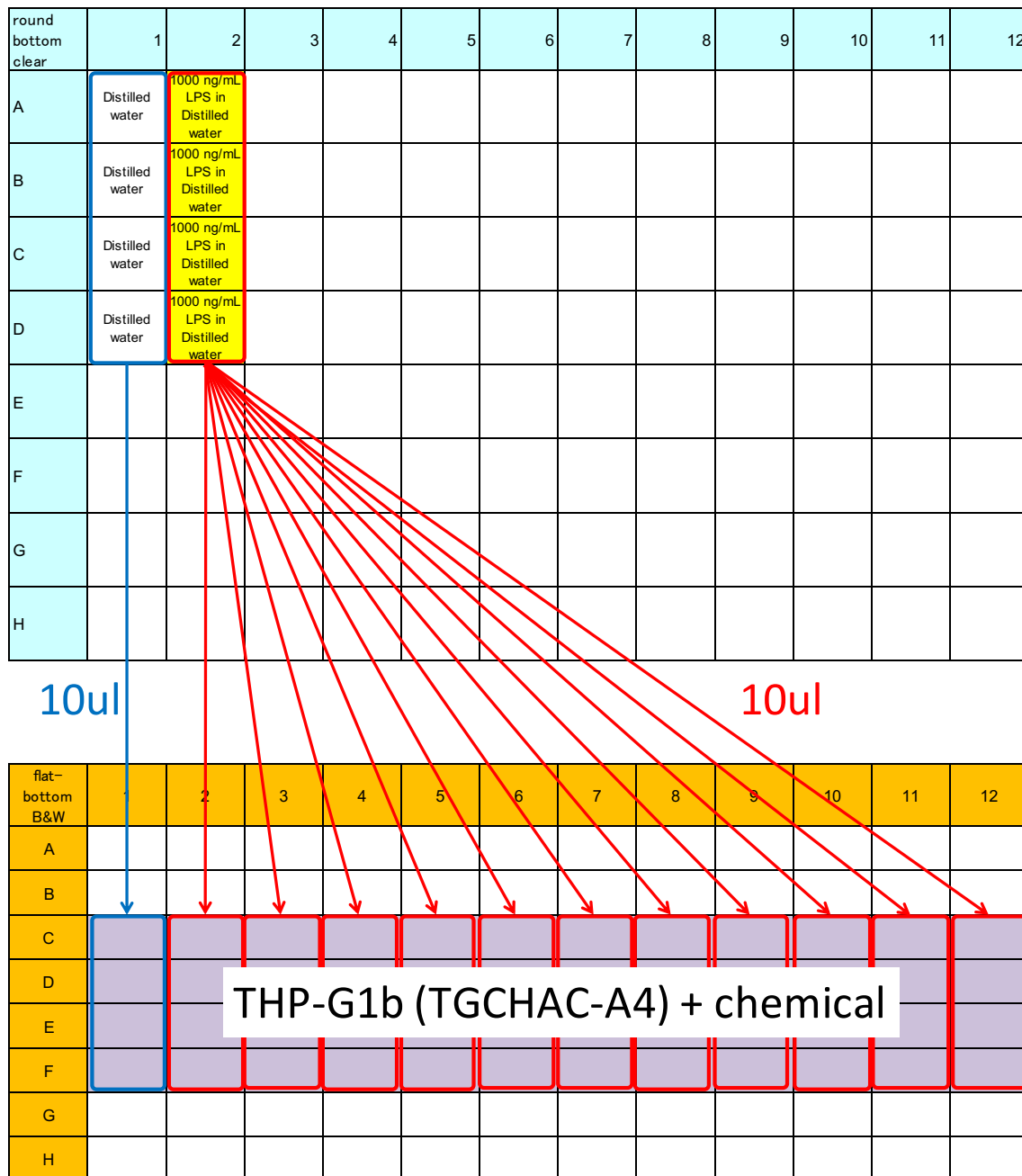
2nd step

5 μ g/mL LPS	distilled water	Total	final concentration
250 μ L	1000 μ L	1250 μ L	1000 ng/mL

6-3 Addition of LPS to THP-G1b (TGCHAC-A4)

One hour after the addition of chemicals, add 10 μ L of control or 1000 ng/mL LPS solution to the cells (#C1-#F1 or #C2-#F12, respectively) using an 8 channel or 12 channel pipetman after pipetting 20 times. Make sure that the apex of the tip is dipped into the medium. Change tips every line you add. Seal the plate, shake the plate with a plateshaker and incubate in a CO₂ incubator for 6 hours (37°C, CO₂, 5%). (cf. Figure 15)

Figure 15



7. Positive control

7-1 Preparing control chemical (dexamethasone)

7-1-1 Preparing dexamethasone stock

Reagent	Company	Concentration of the stock solution	Preparing concentration	Final concentration
Dexamethasone	Fujifilm Wako Pure Chemical Cat#041-18861	100 mg/mL	10, 50, 100 mg/mL	10, 50, 100 μ g/mL
Dimethyl sulfoxide (DMSO)	Sigma Cat#D5879			

Dissolve 1 g of Dexamethasone with DMSO 10 mL, dispense at 100 μ L/tube and store at freezer at -30°C.

7-2 Preparation of cells for assay

A cell passage should be done 2-4 days before the assay.

Use cells between 1 and 6 weeks after thawing.

Pre-warm the B medium in a 37°C water bath. Count the number of cells and collect the number of cells needed (2.0 x 10⁶ cells are required, but to have some leeway, 3 x 10⁶ cells should be prepared), centrifuge the tube at 120-350 x g, 5 min. Resuspend in pre-warmed the B medium at a cell density of 2x10⁶/mL. Transfer the cell suspension to a reservoir, and add 50 µL of cell suspension to each well of a 96 well black-flame and white-well plate (flat bottom) using an 8 channel or 12 channel pipetman. (cf. Figure 16)

Figure 16

flat-bottom B&W	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL							
B	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL							
C	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL							
D	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50µL							
E												
F												
G												
H												

7-3 Arrangement of chemicals and vehicle

Add DMSO 50 μ L to #A1-2, 10 mg/mL dexamethasone 50 μ L to #A3, 50 mg/mL dexamethasone 50 μ L to #A4, 100 mg/mL dexamethasone 50 μ L to #A5 and B medium 90 μ L to #B1-5 of the 96 well clear plate (round bottom). (cf. Figure 17)

7-4 Dilution with the B medium

Dilute DMSO in #A1-2 and dexamethasone DMSO solution in #A3-5 by adding 10 μ L to the B medium in #B1-5. (cf. Figure 17)

Figure 17

round bottom clear	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	DMSO 50 μ L	DMSO 50 μ L	DEX 10 mg/mL in DMSO 50 μ L	DEX 50 mg/mL in DMSO 50 μ L	DEX 100 mg/mL in DMSO 50 μ L							
B	B medium 90 μ L	B medium 90 μ L	B medium 90 μ L	B medium 90 μ L	B medium 90 μ L							
C												
D												
E												
F												
G												
H												

↓

round bottom clear	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	DMSO 40 μ L	DMSO 40 μ L	DEX 10 mg/mL in DMSO 40 μ L	DEX 50 mg/mL in DMSO 40 μ L	DEX 100 mg/mL in DMSO 40 μ L							
B	DMSO 10% in B medium 100 μ L	DMSO 10% in B medium 100 μ L	DEX 1 mg/mL DMSO 10% in B medium 100 μ L	DEX 5 mg/mL DMSO 10% in B medium 100 μ L	DEX 10 mg/mL DMSO 10% in B medium 100 μ L							
C												
D												
E												
F												
G												
H												

7-5 2 step dilution

Add 10 μ L of the diluted DMSO or dexamethasone to 490 μ L of the B medium prepared in the assay block. And add 50 μ L to THP-G1b (TGCHAC-A4) in a 96 well plate using an 8 channel or 12 channel pipetman after pipetting 20 times. Manipulate the procedures from 7-4 to 7-5 as quickly as you can, and do not leave a long time at step after 7-4 or Figure 16. Seal the plate, shake the plate with a platemasher and incubate in a CO₂ incubator for 1 hour (37°C, CO₂, 5%). (cf. Figure 18-20)

Figure 18

round bottom clear	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	DMSO 40uL	DMSO 40uL	DEX 10 mg/mL in DMSO 40uL	DEX 50 mg/mL in DMSO 40uL	DEX 100 mg/mL in DMSO 40uL							
B	DMSO 10% in B medium 100uL	DMSO 10% in B medium 100uL	DEX 1 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	DEX 5 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL	DEX 10 mg/mL DMSO 10% in B medium 100uL							
C												
D												
E												
F												
G												
H												

10uL

Assay Block	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL	B medium 490uL							
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

Figure 19

Assay Block	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	DMSO 0.2% B medium 500uL	DMSO 0.2% B medium 500uL	DEX 20 ug/mL DMSO 0.2% in B medium 500uL	DEX 100 ug/mL DMSO 0.2% in B medium 500uL	DEX 200 ug/mL DMSO 0.2% in B medium 500uL							
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

flat-bottom B&W	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL							
B	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL							
C	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL							
D	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL	THP-G1b 1x10 ⁵ B medium 50uL							
E												
F												
G												
H												

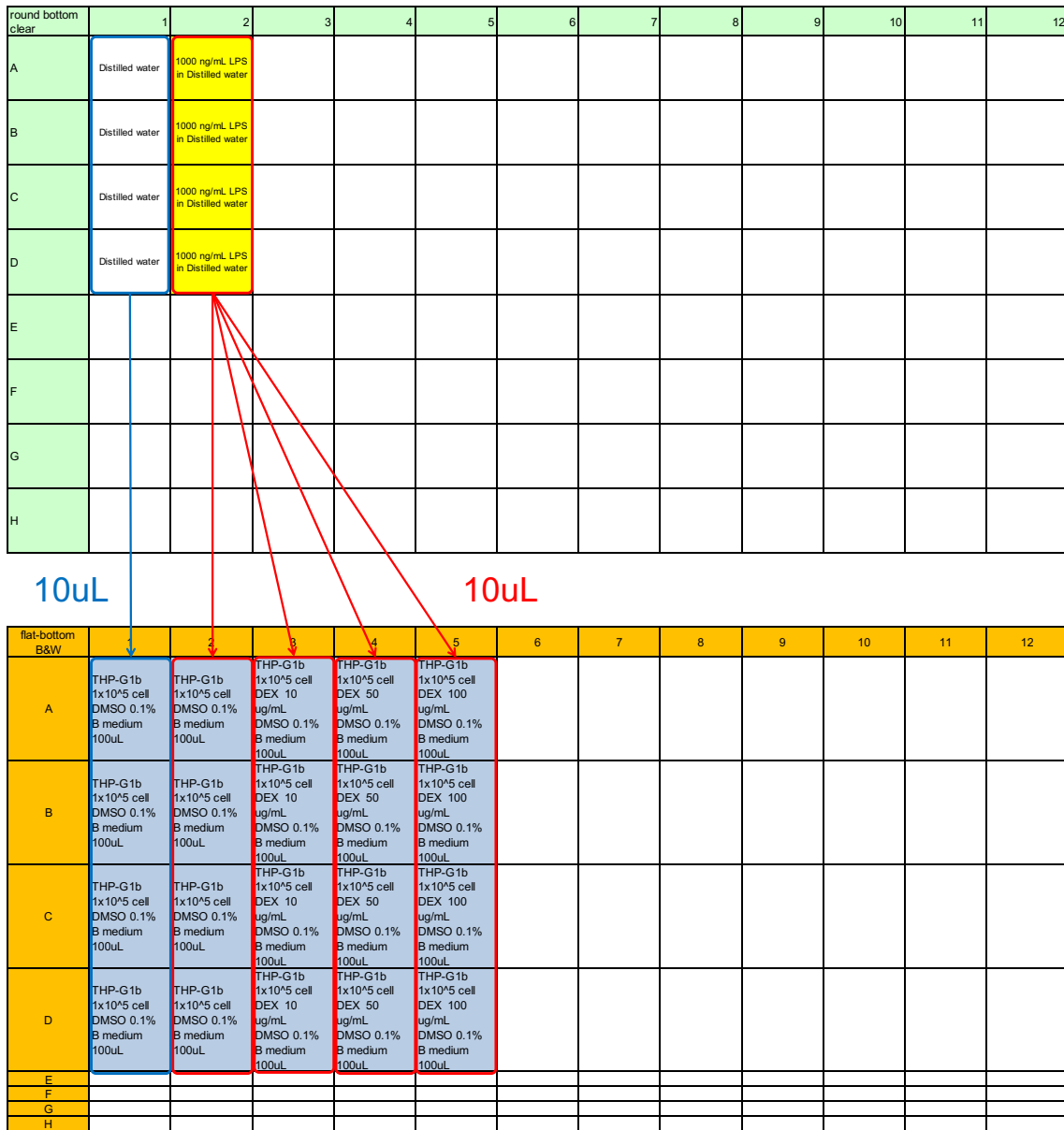
Figure 20 Final constituents of each well of the plate

flat-bottom B&W	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 10 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 50 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 100 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL							
B	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 10 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 50 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 100 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL							
C	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 10 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 50 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 100 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL							
D	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 10 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 50 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL	THP-G1b 1x10 ⁵ cell DEX 100 ug/mL DMSO 0.1% B medium 100uL							
E												
F												
G												
H												

7-6 Addition of LPS to THP-G1b (TGCHAC-A4)

One hour after the addition of dexamethasone, add 10 µL of distilled water or 1000 ng/mL LPS solution prepared in §6 to the cells (#A1-#D1 or #A2-#D5, respectively) using an 8 channel or 12 channel pipetman after pipetting 20 times. Make sure that the apex of the tip is dipped into the medium. Change tips every line you add. Seal the plate, shake the plate with a plateshaker and incubate in a CO₂ incubator for 6 hours (37°C, CO₂, 5%). (cf. Figure 21)

Figure 21



8. Calculation of the transmittance factors

Color discrimination in multi-color reporter assays is generally achieved using detectors (luminometer and plate reader) equipped with optical filters, such as sharp-cut (long-pass) filters and band-pass filters. The transmittance factors of these filters for each bio-luminescence signal color must be calibrated prior to all experiments by following the protocols below.

8-1 Reagents

- **Single reference samples:**
Lyophilized luciferase enzyme reagent for stable luciferase green (SLG)
Lyophilized luciferase enzyme reagent for stable luciferase red (SLR)
- **Assay reagent:**
Tripluc® Luciferase assay reagent (TOYOBO Cat#MRA-301)
- **B medium:** for luciferase assay (30 mL, stored at 2 – 8°C)

Reagent	Company	Concentration	Final concentration in medium	Required amount
RPMI-1640	GIBCO #11875-093	-	-	27 mL
FBS	Biological Industries Cat#04-001-1E Lot:715004	-	10 %	3 mL

8-2 Preparation of luminescence reaction solution

Thaw Tripluc® Luciferase assay reagent (Tripluc) and keep it at room temperature either in a water bath or at ambient air temperature. Power on the luminometer 30 min before starting the measurement to allow the photomultiplier to stabilize.

Add 200 µL of 100 mM Tris-HCl (pH8.0) contains 10 % glycerol to each tube of lyophilized reference sample to dissolve the enzymes, divide into 10 µL aliquots in 1.5 mL disposable tubes and store in a freezer at -80°C. The stored frozen solution of the reference samples can be used for up to 6 months.

Add 1 mL of the B medium to each tube of frozen reference sample (10 µL sample per tube). Keep the reference samples on ice to prevent deactivation.

8-3 Bioluminescence measurement

Transfer 100 μL of the diluted reference samples to a 96 well black-flame and white-well plate (flat bottom) as shown below (the SLG reference sample to #B1, #B2, #B3, the SLR reference sample to #D1, #D2, #D3).

Figure 22.

flat-bottom B&W	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B	SLG 100 μL	SLG 100 μL	SLG 100 μL									
C												
D	SLR 100 μL	SLR 100 μL	SLR 100 μL									
E												
F												
G												
H												

Transfer 100 μL of pre-warmed Tripluc to each well of the plate containing the reference sample using a pipetman. Shake the plate for 10 min at room temperature (about 25°C) using a plate shaker. Remove bubbles in the solutions in wells if they appear. Place the plate in the luminometer to measure the luciferase activity. Bioluminescence is measured for 3 sec each in the absence (F0) and presence (F1) of the optical filter. An example of the raw output data is shown below.

Figure 23. An example of the raw output data

Measurement without Filter												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B	3757015	3716611	3810382									
C												
D	2465453	2207572	2077689									
E												
F												
G												
H												

Measurement with Filter												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B	236478	234079	240876									
C												
D	1585258	1420099	1339265									
E												
F												
G												
H												

Two transmittance factors of the optical filter were calculated as follow:

$$\text{Transmittance factor } (\kappa G_{R60}) = \frac{\#B1 \text{ of F1} + \#B2 \text{ of F1} + \#B3 \text{ of F1}}{\#B1 \text{ of F0} + \#B2 \text{ of F0} + \#B3 \text{ of F0}}$$

$$\text{Transmittance factor } (\kappa R_{R60}) = \frac{\#D1 \text{ of F2} + \#D2 \text{ of F2} + \#D3 \text{ of F2}}{\#D1 \text{ of F0} + \#D2 \text{ of F0} + \#D3 \text{ of F0}}$$

In the case shown above,

$$\text{Transmittance factors } (\kappa G_{R60}) = \frac{236478 + 234079 + 240876}{3757015 + 3716611 + 3810382} = 0.063$$

$$\text{Transmittance factors } (\kappa R_{R60}) = \frac{1585258 + 1420099 + 1339265}{2465453 + 2207572 + 2077689} = 0.644$$

Calculated transmittance factors are used for all the measurements executed using the same luminometer.

Input the transmittance factors to #G4-5 of the “Data Input” sheet of the Data sheet as follow.

Figure 24

MultiReporter Assay System –Tripluc®– Calculation Sheet			
Input transmittance factors of filter for SLG and SLR			
Input measured data (counts)	TF		SLG SLR
	SLG	SLR	
	κG_{R60}	κR_{R60}	

9. Measurement

Please refer Appendix 1 for the principle of measurement of luciferase activity.

Thaw Tripluc® Luciferase assay reagent (Tripluc) and keep it at room temperature either in a water bath or at ambient air temperature. Power on the luminometer 30 min before starting the measurement to allow the photomultiplier to stabilize.

Transfer 100 µL of pre-warmed Tripluc from the reservoir to each well of the plate containing the reference sample using an 8 channel or 12 channel pipetman. Shake the plate for 10 min at room temperature (about 25°C) using a plate shaker. Remove bubbles in the solutions in the wells if they appear. Place the plate in the luminometer to measure the luciferase activity. Bioluminescence is measured for 3 sec each in the absence (F0) and presence (F1) of the optical filter. In case alternative settings are used, e.g., depending on the model of luminometer used, these settings should be justified.

1st. Add the information regarding the name of laboratory, the round of experiments if multiple experimental sets are performed, the experiment number, date, the operator, chemical codes, dissolved in distilled water or DMSO, the prepared concentration and comments if any to Face Sheet of the data sheet.

Figure 25 “Face Sheet” of the data sheet

Multi-ImmunoTox Assay Datasheet for THP-G1b cells			
			Ver. 007
Laboratory			Round
Exp.			
Date: <small>(YYYY/MM/DD)</small>			Operator:
Code		Dissolution	mg/mL in
FInSLO-LA	#NUM!	#NUM!	
Comment:			

2nd. Copy the results of the F0 and F1 measurements (values are expressed as counts) and paste them into the appropriate area in the “Data Input” sheet of the data sheet shown below (Figure 28). In

addition, input the transmittance factors calculated in chapter 5. Calculation of the transmittance factors to TF of the “Data Input” sheet (Figure 26).

Figure 26 “Data Input” sheet of the data sheet

MultiReporter Assay System -Tripluc®- Calculation Sheet

Input transmittance factors of filter for SLG and SLR

	Null	TF	inversion matrix	
SLG	1	0	#NUM!	#NUM!
SLR	1	0	#NUM!	#NUM!

Input measured data (counts)

	TF
SLG	
SLR	

Data without filter

Null	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

Data using Filter

F	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

Next, the calculated results for the parameters of the Multi-Immuno Tox assay for each concentration, e.g., SLG-LA, SLR-LA, nSLG-LA, the mean ± SD of SLG-LA, the mean ± SD of SLR-LA, %suppression and graphs will automatically appear on the “Result Format” sheet of the data sheet.

10. Data analysis

Definition of the parameters used in the Multi-Immuno Tox assay

11. Criteria

11-1 Acceptance criteria

The following acceptance criteria should be satisfied when using the Multi-Immuno Tox Assay method.

- If Fold induction of nSLG-LA of LPS wells without chemicals ($=(\text{nSLG-LA of THP-G1b cells treated with LPS}) / (\text{nSLG-LA of non-treated THP-G1b cells})$) demonstrate less than 3, the results obtained from the plate containing the control wells should be rejected.
- If the number of concentrations which satisfy $\text{I.I.-SLR-LA} \geq 0.05$ is less than 6, the experiment, is accepted only when viable wells satisfy the following positive criteria and then, the following experiments should be done using the concentration described in **5-1**.

11-2 Criterion

The experiments are repeated until two consistent positive results or two consistent “non-suppression” are obtained. When two consistent results are obtained, the chemicals are judged as the obtained consistent results.

Identification of immunotoxicant is evaluated by the mean of %suppression and its 95% simultaneous confidence interval.

In each experiment, when the chemicals clear the following 4 criteria, they are judged as suppression. Otherwise, they are judged as non-suppression.

1. The %suppression is ≥ 25 with statistical significance. The statistical significance is judged when the 95% confidence interval does not include 0.
2. The result shows two or more consecutive statistically significant positive data or one statistically significant positive data with a trend in which at least 3 consecutive data increase in a dose dependent manner. In the latter case, the trend can cross 0, as long as only one data point shows the opposite effect without statistical significance.
3. The results are judged using only data obtained in the concentration at which I.I.-SLR-LA is ≥ 0.05
4. The results at 2000 $\mu\text{g/ml}$ is excluded.

The acceptance criteria and the criterion for judgment can be described in the following with the same meaning and possibly more understandable way.

11-1 Acceptance criteria

The following acceptance criteria should be satisfied when using the Multi-ImmunoTox Assay method.

- If Fold induction of nSLG-LA of LPS wells without chemicals ($=(\text{nSLG-LA of THP-G1b cells treated with LPS}) / (\text{nSLG-LA of non-treated THP-G1b cells})$) as a control demonstrates less than 3, the results obtained from the plate containing the control wells should be rejected.
- If the number of concentrations which satisfies $\text{I.I.-SLR-LA} \geq 0.05$ is less than 6, the experiment is accepted only when viable wells satisfy the following positive criteria and then, the following experiments should be conducted using the concentration described in **5-1**.
- When chemicals are dissolved at 100 mg/ml in water, the data of the wells treated with chemicals at the highest concentration, i.e. 2 mg/ml, was omitted.

11-2 Criterion

The experiments are repeated until two consistent suppression or two consistent non-suppression are obtained. When two consistent results are obtained, the chemicals are judged as the obtained consistent results.

Identification of immunotoxicant is evaluated by the %suppression and its 95% confidence interval.

In each experiment, when the chemicals clear the following 3 criteria, they are judged as suppression. Otherwise, they are judged as non-suppression.

1. The result shows two or more consecutive statistically significant positive data with ≥ 25 of the % suppression or one statistically significant data with ≥ 25 of the % suppression and a trend in which at least 3 consecutive data increase in a dose dependent manner. In the latter case, the trend can cross 0, as long as only one data point shows negative data without statistical significance. The statistical significance is judged when the 95% confidence interval does not include 0.
2. The results are judged using only data obtained in the concentration at which I.I.-SLR-LA is ≥ 0.05

12. Update record

Ver. 009E for THP-G1b (TGCHAC-A4) 2019.7.1

Change the Acceptance criteria

Change the criteria

Ver. 008.1E for THP-G1b (TGCHAC-A4) 2019.2.7

Change the Acceptance criteria

Change the criteria

Ver. 008E for THP-G1b (TGCHAC-A4) 2018.12.3

Addition of thresholds to the criteria.

Change the composition of the culture medium

Change the preparation of the dexamethasone solution

Ver. 007E for THP-G1b (TGCHAC-A4) 2018.7.12

Ver. 0011.0E 2018.5.10

Change the criteria

Ver. 0010.0E 2018.1.15 distribution

Change the criteria

Ver. 009.1E 2017.5.8 distribution

Change the criteria

Ver. 009.0E 2017.4.7 distribution

Change the preparation of chemicals

Change the acceptance criteria

Change the criteria

Ver. 008.5E 2016.9.14 distribution

Change the criteria

Ver. 008.4E 2016.9.9 distribution

Change the criteria

Ver. 008.3E 2016.8.1 distribution

Correction of the preparation of PMA and ionomycin

Change the preparation of PMA and ionomycin

Change the preparation of controls

Addition of Acceptance criteria

Ver. 008.1E 2016.2.2 distribution

Changes after the VMT meeting

Ver. 008.0E 2016.1.19

Translation to English

Addition of appendix

Ver. 006.0J 2015.8.17

Change the preparation of chemicals (same method to the IL-8 Luc assay)

Delete the alteration in Ver. 005.0J

Ver. 005.0J 2015.1.9 distribution

Change to use SLR-LA of THP-G8 at the calculation of nSLG-LA of TGCHAC-A4

Ver. 004.1J 2014.12.10 distribution

Change the cellular concentration at cell passage

Modify figure 16, 17

Ver. 004.0J 2014.11.17 distribution

For the validation study at AIST, FDSC and Tohoku university (chemicals: Sodium Bromate (NaBrO_3), Nickel (II) sulfate (NiSO_4), Dibutyl phthalate (DP), 2-Mercaptobenzothiazole (2-MBT))

Change THP-G1b cells to TGCHAC-A4 cells

Change cell number of THP-G8 and TGCHAC-A4 5×10^4 /well to 1×10^5 /well

Change concentration of chemicals 11 steps to 10 steps

Change final concentration of LPS (THP-G8 : 25 ng/mL, TGCHAC-A4 : 1 ng/mL)

Change the way of addition of LPS (2 mL/well to 10 mL/well)

Change the criteria

Ver. 002.0J 2013.08.19 distribution

For the validation study at AIST and FDSC (chemicals: CoCl_2 , NiSO_4 , Isophorone diisocyanate, 2-

Mercaptobenzothiazole)

Change the common ratio 3 to 2

Change the concentration of LPS 100 ng/mL to 25 ng/mL

Add description about the control (dexamethasone)

Delete the appendix about THP-G8 cell

Ver. 001.1J 2012. Nov. 13 distribution

Add the appendix about THP-G8 cell

Ver. 001J 2012. Nov. 09 distribution

Appendix 1 Principle of measurement of luciferase activity

MultiReporter Assay System -Tripluc- can be used with a microplate-type luminometer with a multi-color detection system, which can equip an optical filter. (e.g. Phelios AB-2350 (ATTO), ARVO (PerkinElmer), Tristar LB941 (Berthold)) The optical filter used in measurement is 600 ~ 620 nm long or short pass filter, or 600~700 nm band pass filter.

(1) Measurement of two-color luciferases with an optical filter.

This is an example using Phelios AB-2350 (ATTO). This luminometer equips a 600 nm long pass filter (600 nm LP (Filter 1); R60 HOYA Co.), for splitting SLG and SLR luminescence.

To determine transmission coefficients of the 600 nm LP, first, using purified SLG and SLR luciferase enzymes, measure i) the intensity of SLG and SLR bioluminescence intensity without filter (F0), ii) the SLG and SLR bioluminescence intensity that passed through 600 nm LP (Filter 1), and calculate the transmission coefficients of 600 nm LP for SLG and SLR listed below.

Transmission coefficients		Abbreviation	Definition
SLG	Filter 1 Transmission coefficients	κG_{R60}	The filter's transmission coefficient for the SLG
SLR	Filter 1 Transmission coefficients	κR_{R60}	The filter's transmission coefficient for the SLR

When the intensity of SLG and SLR in test sample are defined as G and R, respectively, i) the intensity of light without filter (all optical): F0 and ii) the intensity of 600 nm LP (Filter 1) transmitted light are described as below.

$$F0=G+R$$

$$F1=\kappa G_{R60} \times G + \kappa R_{R60} \times R$$

These formulas can be rephrased as follows

$$\begin{pmatrix} F0 \\ F1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ \kappa G_{R60} & \kappa R_{R60} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} G \\ R \end{pmatrix}$$

Then using calculated coefficient factors (κG_{R60} and κR_{R60}) and measured F0 and F1, you can calculate G and R-value as follows.

$$\begin{pmatrix} G \\ R \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ \kappa G_{R60} & \kappa R_{R60} \end{pmatrix}^{-1} \begin{pmatrix} F0 \\ F1 \end{pmatrix}$$

This calculation can be performed using the functions "MINVERSE" and "MMULT" in Microsoft Excel. These calculations are integrated in the Data sheet for MITA THP-G1b.

Appendix 2 Validation of reagents and equipment

1 Measurement of transmittance of optical filter for multicolor measurement

For color discriminations in the multi-color reporter assay, detectors (luminometer and plate reader) are usually equipped with optical filters, such as sharp-cut (long-pass) filters and band-pass filters. The transmittance factors of these filters for each bioluminescence signal color have to be calibrated prior to all experiments by following the protocols below.

1-1 Reagents

- Single reference samples:

Lyophilized luciferase enzyme reagent of SLG

Lyophilized luciferase enzyme reagent of SLR

- Assay reagent:

Tripluc® Luciferase assay reagent (TOYOBO Cat#MRA-301)

- B medium: for luciferase assay (30 mL, stored at 2-8°C)

Reagent	Company		Final conc. in medium	Required amount
RPMI-1640	GIBCO #11875-093	-	-	27 mL
FBS	Biological Industries Cat#04-001-1E Lot: 715004	-	10 %	3 mL

1-2 Calibration

1-2-1 Preparation of luminescence reaction solution

Thaw Tripluc® Luciferase assay reagent (Tripluc) and keep it at room temperature by bathing in water or ambient air. Start the luminometer 30 min before starting the measurement for stabilization of the photomultiplier.

Add 200 μ L of 100 mM Tris-HCl (pH8.0) contains 10% glycerol to each tube of the lyophilized reference samples to dissolve the enzymes, followed by separating them into 1.5 mL disposable tubes at 10 μ L each and storing in a freezer at -80°C. The stored frozen solution of the reference samples can be used for one half year.

Add 1 mL of B medium to each tube of the frozen reference sample (10 μ L in a tube) and label them as SLG1/1, SLR1/1, and SLG/SLR1/1. Keep the reference samples on ice to prevent deactivation.

Prepare dilution series of the single reference samples of SLG and SLR as follows. Dilute 0.3 mL of each 1/1 solution with 0.9 mL of B medium to make SLG1/4 and SLR1/4. In the same manner, prepare 1/16 and 1/64 solution of each. Keep diluted reference samples on ice.

1-2-2 Bioluminescence measurement

Transfer 100 μ L of the diluted reference samples to a 96-well flat-bottom black plate as shown below.

Figure 28.

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B	SLG 1/1	SLG 1/1	SLG 1/1	SLG 1/4	SLG 1/4	SLG 1/4	SLG 1/16	SLG 1/16	SLG 1/16	SLG 1/64	SLG 1/64	SLG 1/64
C												
D	SLR 1/1	SLR 1/1	SLR 1/1	SLR 1/4	SLR 1/4	SLR 1/4	SLR 1/16	SLR 1/16	SLR 1/16	SLR 1/64	SLR 1/64	SLR 1/64
E												
F												
G												
H												

Transfer 100 μ L of pre-warmed Tripluc to each well containing the reference samples of the plate using a pipetman. Shake the plate for 10 min at room temperature (about 20°C) with a plate shaker. Remove bubbles on the solutions in wells if they appear. Place the plate into the luminometer of the under-test to measure the luciferase activity. Bioluminescence is measured for 3 sec each in the absence (F0) and presence (F1) of the optical filter. The example of the raw output data was shown below.

Figure 29.

Measurement without Filter												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B	9689	9691	9677	2402	2388	2412	704	689	721	177	189	182
C												
D	8588	8444	8462	2281	2128	2239	609	578	690	150	132	129
E												
F												
G												
H												

Measurement with Filter												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B	2022	1945	2067	502	496	510	143	149	153	37	49	45
C												
D	5722	5756	5721	1523	1459	1589	413	397	468	102	108	97
E												
F												
G												
H												

Copy the results of the F0 and F1 measurement (values are expressed as counts) and paste it to the appropriate area in the “Data Input” sheet of the data sheet for data analyses shown below.

Figure 30.

MultiReporter Assay System -Tripluc®- Calculation Sheet

Input measured data (counts)

Data without filter												
Null	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

Data using Filter 2												
F2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

Record all the results for quality control.

2 Quality control of equipment

In order to confirm the detector stability as the quality control, the reference luciferase sample, optical property, the protocol described hereafter should be performed at the beginning of the experiments every day using reference LED light source plates equipped with stabilized LEDs. LED plate data typically fluctuates up to 1.5% (σ). Disagreement to the old data should be less than $3 \times \sigma$ (=

4.5%). Here describes an example using a commercially available reference light source, TRIANT® (wSL-0001) by ATTO (Tokyo, Japan).

Start LED plate and select “PMT” mode.

Select three-color (BRG) mode and adjust light intensity to 1/10 ($10E-1$).

Place the LED plate into the luminometer. Light intensity is measured for 3 sec each in the absence (F0) and presence (F2) of the optical filter.

Read and record the data at the position of #F6, #E6, and #D6 that are LEDs of blue, green, and red LEDs, respectively.

LED plate data typically fluctuates up to 1.5% (σ). Disagreement to the old data should be less than $3\times\sigma$ (= 4.5%).

添付資料 2 : Data sheet for MITA IL-2 Luc LTT Ver.008.8

①フェイスシート

Multi-ImmunoTox Assay Datasheet for 2H4 cells			
			Ver. 008.8
Laboratory		Round	
Exp.		(Highest soluble conc. In the next exp.s mg/ml)	
Date: <small>(YYYY/MM/DD)</small>		Operator:	
Code		Dissolution	mg/ml in
Fold induction of nIFNLA		Rejected	the number of concentration which satisfy Inh-GAPLA>=0.05
Comment:			

②データ入力シート

MultiReporter Assay System -Triplet Calculation Sheet
1st exp.

Transmittance Data			
	SLG	SLO	SLR
T0			#VALUE! #VALUE! #VALUE!
T1			#VALUE! #VALUE! #VALUE!
T2			#VALUE! #VALUE! #VALUE!

Filter 0 Data	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

Filter 1 Data	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

Filter 2 Data	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A												
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												

④ グラフシート

